

総合評価落札方式における技術提案書評価に関する留意事項

○過度なコスト負担を要する提案(オーバースペック)と判断される内容は評価しません。

- ・技術提案は、過度なコスト負担を要する内容を求めるものではありません。入札価格の範囲内で無理なく実現できる提案で、品質、効率性、安全性等の向上のための工夫であることを基本とします。
- ・工事費を圧迫する過度なコスト負担を要する及び要求水準を超える過大な提案(オーバースペック)は、評価しません。
過度なコスト負担を要する技術提案に該当するかどうかの判断は、当該工事の工事費と提案の内容から個別の案件ごとに行うこととします。
- ・施工能力評価型及び施工計画提案型(標準型)における過大な提案の主な事例は次の通りです。
なお、過大な提案として評価しなかった場合は、入札参加者に対して競争参加資格確認結果通知と合わせて通知することとし、受注者は履行義務を負わないものとします。

①現地状況に応じた設計変更の対象とすべき提案

- ・地盤改良における追加ボーリングの実施等、設計図書以上の調査を行う提案
- ・地質条件によって設計変更の対象となるトンネル掘削パターンや補助工法に関する提案
- ・トンネル掘削工法を標準案の発破掘削から機械掘削に変更する提案
- ・交通管理者との協議により変更される高速道路上の規制に関する交通監視員等の増員の提案

②管理基準を厳格化する提案

※厳格化: 出来形管理、品質管理における管理頻度・管理箇所の増加、試験項目の追加、規格値の厳格化など

- ・トンネル工事の各種計測工に対し計測設備等を大幅に増設する提案(①とも関連)
- ・舗装表層における平坦性に対し規格値を大幅に上回る自主基準を設定する提案
- ・工事中の騒音・振動・水質汚濁対策等として、規格値を大幅に上回る自主基準の設定や、設計図書等で定めた基準値を大幅に上回る施設を設置する提案(③とも関連)

※管理基準厳格化の評価は、提案の目的や実施範囲、効果、管理労力等を総合的に勘案します。

③要求水準に対して過剰な設備投資、要員増に関する提案

- ・専任の観測員等の配置、複数の計測機器等を設計図書を上回り大幅に増設する提案
- ・トンネルずり仮置き場に高性能防音ドーム・大規模遮音壁等の設備を設計図書を上回り大幅に増設する提案
- ・施工区間一連にわたり防音壁を設置する等、設計図書を大幅に上回る仮設工の提案
- ・落石防止柵、仮設防護柵と透明フェンスの設置等、設計図書を大幅に上回る仮設工の提案
- ・完成後の箱桁内に照明を配備し、定着部点検用梯子を設置する提案

④要求水準に対して過剰な材料・配合・工法・設計に関する提案

- ・高盛土部の基盤排水層の設計厚1mを2mとして施工する提案
- ・構造物基礎部や埋戻し部へセメント安定処理土を使用する提案
- ・盛土の沈下対策として敷網(ジオテキスタイル)を追加施工する提案
- ・コンクリートの配合変更や添加剤の追加など設計図書を大幅に上回る変更が伴うコンクリート材料の提案
(施工区間一連に渡るコンクリート強度の変更、水中不分離性コンクリート等の特殊コンクリートの使用、トンネル全線に渡る繊維補強コンクリートの採用等)
- ・コンクリートの養生のための設備に加えて養生剤(表面養生剤、高性能収縮低減剤等)等を併用する提案
- ・トンネル坑口部にフォアパイルング、鏡ボルト、高強度吹付けインバート等の複数の対策工を行う提案
- ・塗料を増塗りする提案、金属溶射範囲を拡大(塗装を溶射に変更)する提案
- ・橋梁上部工工事等において防錆処理高カボルト、アルミニウム製検査路、ステンス排水管等を使用する提案
- ・エポキシ樹脂塗装鉄筋(ステンス鉄筋)を設計図書を大幅に上回る範囲に使用する提案
- ・高盛土の盛土変形に対するFEM再現解析・予測解析の実施及び対策工の提案
- ・ひび割れ対策として三次元温度応力解析の実施及び対策工の提案
- ・橋梁上部工工事等において三次元FEM解析等を用いた高度な構造解析・挙動確認・安定性検討等の実施及び解析等に伴う諸対策工の提案
- ・PC床版の実物大供試体を用いた試験輸送の実施に伴う輸送時実衝撃係数の把握と設計反映の提案
- ・風洞実験による斜ケーブルの空力振動に対する照査の提案

※要求水準に対する過剰な提案の評価は、使用目的、使用範囲、使用量、解析に要する労力、対策工の効果等を総合的に勘案します。